

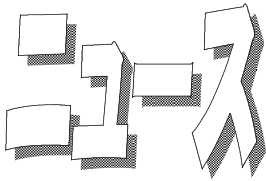
長内裁判で勝訴

—最高裁が学園の上告を棄却

新聞報道の通り、東奥学園・長内先生の裁判で最高裁は学園側の上告を棄却しました。1月27日付の決定です。これで、長内先生の請求―東奥学園の講師としての地位確認と賃金支払い―を認めた仙台高裁の判決が確定し、職場に復帰できることとなります。

決定にあたって長内先生は「ご支援くださったみなさま、本当にありがとうございます。1日でも早く職場に復帰できると、引き続きがんばっていきます」とのコメントを発表

三八地労連



三八地方労働組合総連合
発行●2011年2月8日
・第116号●八戸市柏崎
1-10-34 対馬治療院2階
☎・Fax 0178-47-8886



しました。

県労連有馬事務局長は、戻す会としてこれまでの支援に感謝

地労連ボウリング大会―佐々木美音緒さんが優勝

1月29日、三八地労連はゆりの木ボウルでボウリング大会を行いました。八医労(八戸医療生協労組)のみなさんが家族で多数参加し、家族交流の行事となりました。

ハンディをつけて2ゲームを行った結果、1位は佐々木美音緒さん(八医労)、2位は新岡武信さん(年金者組合)、3位は中道博章さん(県教組)でした。

しつつ、「裁判では条件が整いました。職場復帰に向けて今現在も学園と交渉中で落ち着かない状態です。事態がはっきりしてきましたら、ニュースなど流す予定です」と述べています。

2011年旗びらき

三八地労連(三八地方労働組合総連合)は1月14日、三八教育会館で二〇一一年旗びらきを開催しました。

中道博章地労連議長は挨拶の中で、春闘諸課題の推進と統一地方選に向けて、共同の力を発揮していこうと述べました。来賓の畑中哲雄八戸市議長は、「大企業の内部留保をはき出させ、今年こそ賃上げを」



ストライク―八医労のSさん

地労連HP開設

三八地労連 Web という名称で公開しました。URL は下記の通りです。ご覧ください。
<http://sanpachi.mizubasyou.com/>



とよびかけました。参加した各組合からは、直面

している課題・闘いを紹介しながら決意の表明がなされました。全医労八戸支部は、「非特定」への企てもあり、何として

当面の日程

- 2月12日 はちのへ九条の会
- 6周年記念講演会(品川正治)
- 13:30 福祉公民館
- 2月20日 県春闘決起集会
- 13:00 アウガホール・青森市
- 2月22日 地労連幹事会⑧
- 18:30 三八教育会館
- 2月28日 公契約キャラバン
- 3月1日 公契約キャラバン
- 3月2日 ゆきとど…幹事会、
- 3月5日 国際女性デー集会
- 13:30 南部会館
- 3月6日 6・9行動
- 14:00 三春屋前
- 3月9日 八戸原水協総会
- 18:30 三八教育会館
- 3月11日 重税反対全国統一行動、13:30 八戸プラザホテル

も過半数を組織して2月を迎えたいと発言しました。八戸医療生協労組からも、要求実現のためにも拡大に取り組む決意が述べられました。公契約運動の推進や国公法弾圧事件裁判の取り組み等も語られました。

国公関係職場の二人が、今年地域労連の活動に参加していきますと発言し、拍手を受けました。楽しみが多く、組合員が増え続けている年金者組合の発言にも共感が寄せられました。

公契約運動で学習会

1月20日、三八地労連は奥村県労連議長を講師に迎えて公契約運動学習会を行い、8組合12名が参加しました。

「公契約の適正化で安全・安心の地域社会に」をスローガンに掲げたこの運動は全労連が提起しているもので、2009年末から取り組まれています。

公契約とは、「公の機関を一方の契約当事者として締結する契約」で、公共工事や委託業務、物品購入などが該当します。公契約適正化運動は、公契約労働者の適正な賃金・労働条件と雇用の安定、継続を、公共サービス・建造物の質の向上で市民に安全・安心を、地元発注、地域の賃金相場の向上で地域経済の発展を、受託業者の健全経営、ピンハネ業者排除で税金無駄遣いをなくすこと等をめざすものです。

奥村議長は、入札のたびに賃金が下がり雇用も不安になる状況、丸投げの業務委託で死亡事故を招いた埼玉県ふじみ野市の市営プール事故の例など不幸のサイクルが繰り返されていく現状を、公契約の適正化で地域の賃金・労働条件の引き上

げ、地域経済の活性化につながる希望のサイクルに変えることができるかと力説しました。公契約条例を制定した野田市の例や適正賃金を設定している函館市、指針を作成し入札・契約を改善している国分寺市の例など、全国で適正化の動きが始まっていることを紹介しました。

また本県では、県労連として各市町村へのアンケートで公契約の実態を調査しており、それをもとに1月下旬に公契約キャラバンを計画していることを説明、地域の労働者の状態を改善する公契約運動を推進しようと呼びかけました。

日本高齢者大会in青森を成功させるついで

1月19日、県教育会館で日本高齢者大会in青森を成功させるついでが開かれました。参加者は115人、八戸からは13人で十三の5人と一緒のマイクロバスでした。

前年度の水戸大会で事務局長をつとめた田中さんの報告が、とても具体的に、活動への示唆に富む内容でした。14の地域とひとつの職場実行委員会をつ

つて取り組んだ、(常磐線沿線の)医療生協の組織があるところは医療生協が中心となったが、ないところでは新婦人や年金者組合が中心となった、大会に取り組んだ成果が地域に残り、色々な形でいま生かされていると語って下さいました。

核兵器禁止条約の交渉開始を求める新署名を

日本原水協は2月3、4日に開催された全国理事会で、新たな署名運動「核兵器全面禁止のアピール」に取り組みことを決定しました。この署名は、NPT再検討会議での到達を踏まえ、すべての国の政府に速やかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求める物です。

中で、自治体首長や議長の署名、非核自治体宣言の取り組みをすすめることを決めています。八戸原水爆禁止の会は2月23日に理事会、3月9日には総会を予定していて、そこで地域での具体的な取り組みを協議することになっています。「アピール」発表は2月15日で、署名用紙がまもなく八戸原水爆禁止の会から送付されますので、15日から開始できます。

高齢者大会は9月12、13日に青森市で開催されますが、1日二五〇〇円の参加費や旅費について、地域や県実行委員会からの(補助等)対策の必要性が訴えられ、実行委員会で検討していくことになりました。

県原水協は2月5日の理事会総会でこの署名の取り組みを確認し、二〇一一年度は2万筆を目標に取り組みことにしています。また、この署名に取り組み

今回の署名には紅白で「INORI」祈りを歌った歌手のクミコさん、沢田研二さんや吉永小百合さんなどの賛同が寄せられ、本県からは、伊奈かついさんと河原木俊光さんが賛同しています。

時評 日本経済と通信の発展

日本経済と通信の発展は、長年の課題であるデジタル化を加速させる必要がある。近年のデジタル化の進展は、企業間の競争力を高める一方で、労働者のスキルアップを必要としている。企業は、労働者のスキルアップを支援する必要がある。通信事業者は、労働者のスキルアップを支援する必要がある。

時評 賃金アップ決断を望む

しかし国内の賃金(GDP)の伸びが鈍化した企業は「賃金アップ決断を望む」という発想が必要である。賃金アップ決断を望む企業は、労働者のスキルアップを支援する必要がある。賃金アップ決断を望む企業は、労働者のスキルアップを支援する必要がある。
